

01 警察庁 非予算(特区・地域再生 検討要請).xls

提案事項管理番号	要望事項(事項名)	拡充提案・関連提案に係る規制の特別措置の番号・名称	求める措置の具体的内容	具体的事業の実施内容・提案理由	プロジェクト名	提案主体名	都道府県	制度の所管・関係府省庁
1004010	車内からのごみのポイ捨て行為を反則行為として取り締まる。(車内からのポイ捨て禁止強化特区)		危険、交通の障害とならないようなポイ捨てを交通反則通告制度(反則金)の対象として取り締まる。併せて、点数による運転免許の取消し・停止制度の減点の対象として規制を強化する。	現状取り締まっていない、危険、交通の障害とならないようなポイ捨てを交通反則通告制度の対象とするともに、点数による運転免許の取り消し・停止制度の減点の対象として規制を強化することで、横須賀市内ではポイ捨てはさせない(できない)という姿勢を示し、ポイ捨てごみのないきれいな町並みを保つ。これにより、本市にある海や豊かな緑といった自然ときれいな町並みが共存する「環境にやさしいまち“循環型都市よこすか”を創造」することで、乗客の拡大、交流人口を増加させ、もって地域の活性化を図るもの。		横須賀市	神奈川県	警察庁
1006010	住居地域での高齢者向け健康マージャン教室の開催に伴う規制の緩和		高齢者が多く居住する中心市街地の住居地域において、認知症予防やうつ病対策、ふれ合いの場の提供など高齢者福祉の一環として開催する健康マージャン教室については、地域を限定し麻雀店の営業許可を受けられるものとする。	(提案理由) お年寄りの孤独死・孤立死・無縁死などの悲惨なニュースが毎日のように報道されるなか、高齢者福祉を進めるにあたり「ふれ合いの場の提供」や「居場所づくり」が重要となっている。今回提案する健康マージャンは認知症予防に最適であるとの臨床結果が出ており、近年東京を中心に行政を窓口とした福祉施策として拡大しているほか、今年石川県で開催される「ねんりんピック石川2010」の正式種目として「健康マージャン交流大会」が金沢市で行われるなど認知度も高まっている。 このような中、近隣に高齢者が多く居住しかつ郊外からの交通の便もよい中心市街地で健康マージャン教室「いきいき元気塾」を開催したところ、警察署より麻雀店として取り扱われたほか、建物が住居地域内であったことから営業許可も出せないとのことであった。 そこで、住居地域であっても高齢者福祉の一環として行う健康マージャン教室については地域を限定し風営法の営業許可を出せることを提案する。 (代替措置等) ・麻雀店同様、必要な書類を所管の警察署に提出するものとし、警察署の指導、指示に従う。 ・「賭博禁止」、「喫煙禁止」、「アルコール禁止」、「夜間営業の禁止」を厳守する。 ・教室は高齢者(60歳以上)に限定するほか、マージャン以外の交流も行うなど市町村の担当部局と十分協議する。 ・高齢化率が高くかつ周辺環境への影響も比較的小さい中心市街地(市町村中心部)の住居地域に限定する。 ・参加料として教室の維持費程度のみ徴収できるものとする(1人月500円程度)。		健康麻雀教室「いきいき元気塾」	石川県	警察庁
1036010	風営法における規制の見直し(防犯特区)		風営法の規定を見直していただき、構造改革特別区域を指定した地域において、風営法で認めている営業の「既存権を認めない」ことや「客引き準備を禁止」するなど、当面オリジナルな規制を設け、大幅な体感治安の向上を図り、市民を始め来街者が安心して安全に楽しめる市街地を実現する。	厚木市では、市民協働による「世界基準の安心安全なまち」づくりを推進しており、本年10月以降には、WHO(世界保健機関)が提唱する「セーフコミュニティ」と「インターナショナルセーフスクール」の同時認証の予定である。しかし、厚木駅周辺を中心に、黒服を着用した客引きが角々に立ち、往来者に声をかけ、通行に著しく支障をきたしている。 現在、厚木警察署と警察官OBで組織する市民安全指導員が、毎週、「歓楽街特別警告対策事業」と称し、客引きに対して、指導・警告を実施し、必要に応じ、風適法に基づき検挙を行っているが、イタチごっこ状態であり、根本的な対策が必要である。 そこで、風営法の規定を改正していただき、構造改革特別区域において、風営法規定を改正又は緩和した当面オリジナルな規制を設け、大幅な体感治安の向上を図り、市民を始め来街者が安心して安全に楽しめる市街地を実現する。 【具体的な内容】 ・風営法第28条第3項 この条項では、既存権を認めているので、ただし書き等を追加して、「既存権を認めない」とする。 ・風営法第22条及び第28条第12項 「当該営業に關し客引きの準備のため、公共の場において立哨又は待機すること。」の号の追加 【社会的・経済的効果】 安心・安全な市街地は、誰もが求めるものであり、性風俗店のない街に、安心して事業者や企業が出店できることは、地域の活性化に直結し、経済効果、安心度は計り知れない。		厚木市	神奈川県	警察庁

01 警察庁 非予算(特区・地域再生 検討要請).xls

提案事項管理番号	要望事項(事項名)	拡充提案・関連提案に係る規制の特例措置の番号・名称	求める措置の具体的内容	具体的事業の実施内容・提案理由	プロジェクト名	提案主体名	都道府県	制度の所管・関係府省庁
1051080	Smart Wellness City実証研究特区(運転経歴証明書)の本人確認書類としての有効期限の明確化・延長)		住民の自家用車依存度を下げ、公共交通機関へのシフトを促す「運転経歴証明書」の本人確認書類としての明確な位置づけ	<p>運動等による健康の維持・増進は、最終的には医療費の適性化につながるが、そのためには、自家用車依存の生活を改め、公共交通機関の使い勝手の向上を図ることが必要である。</p> <p>このためには、高齢者等の運転免許の返納を促すことが効果的であるが、その際、道路交通法第104条の4に基づき発行される「運転経歴証明書」について、有効期限が存在しないため、犯罪による収益の移転防止に関する法律施行規則第4条に基づき、「六月以内に作成されたもの」でなければ本人確認書類として位置づけられない状態となっている。</p> <p>このため、銀行口座の作成等の商取引を継続する高齢者を中心に運転免許の返納が進まない原因の一つとなっているため、運転経歴証明書についても無期限に(または数年間)、本人確認書類として位置づけられる様措置されたい。</p>		伊達市、見附市、新潟市、三条市、岐阜市、筑波大学	福島県、茨城県、新潟県、岐阜県	警察庁
1052110	都心の一部道路交通規制管理の権限移譲		国家公安委員会(警察庁)及び都道府県公安委員会(警視庁及び各道府県警察本部)の保有する交通規制・管理に関する権限の一部を自治体へ移管する	豊田市にてスマートコミュニティの実証の一環として、駅前中心の再開発に伴う活性化と交通渋滞の緩和を目的に、一般道にトランジットモール、歩行者優先エリアを導入する。バスレーン(片側1車線道路の一方通行化による導入を含む)、公共交通優先信号、自転車レーンを設置し時間帯別の交通規制を導入するため、交通規制・管理に関する権限の一部を基礎自治体へ移管する。	豊田市次世代街づくりプロジェクト	トヨタ自動車株式会社	愛知県	警察庁
1052120	日本版BRT導入に伴う、一部道路規制管理の権限移譲及び連結車両の通行の認可に関する権限委譲		国家公安委員会(警察庁)及び都道府県公安委員会(警視庁及び各道府県警察本部)の保有する交通規制・管理に関する権限の一部を自治体へ移管する。 また、連結車両の通行の認可に関する権限を基礎自治体へ移管する。	豊田市にてスマートコミュニティの実証の一環として、日本版BRTを導入、試験運用する。連結運転が可能バスシステムを新たに開発するものであり、連結走行のための時間帯規制によるバスレーンを導入するため、交通規制・管理に関する権限の一部を基礎自治体へ移管する。また、連結車両の通行の認可に関する権限を基礎自治体へ移管する。	豊田市次世代街づくりプロジェクト	トヨタ自動車株式会社	愛知県	警察庁 国土交通省

01 警察庁 非予算(特区・地域再生 検討要請).xls

提案事項管理番号	要望事項(事項名)	拡充提案・関連提案に係る規制の特例措置の番号・名称	求める措置の具体的内容	具体的事業の実施内容・提案理由	プロジェクト名	提案主体名	都道府県	制度の所管・関係府省庁
1064010	世界に認められる、21世紀のパチンコビジネスモデル。パチンコ営業店内に「貸玉・貸メダル返却所を設置」		パチンコ営業店による社会貢献活動の推進。パチンコ営業店内にパチンコ営業店とは無関係の第三者(社会福祉団体・NPO)等による、貸玉・貸メダル返却所の設置を行い、遊技客が簡単便利で解りやすく、安心安全な店内で「玉・メダル」の返却を行うことが出来るシステム。	警察庁の犯罪統計により、「ばちんこ景品買取所」に対する凶悪犯罪が、いっこうに無くならない現実を鑑み(平成21年次、認知事件数21件)、再度ご提案をさせて頂きます。これらの凶悪犯罪を未然に防ぐ為にも、新しい賞品交換システムを採用することにより、セキュリティがしっかりした設備のあるパチンコ営業店内で「貸玉・貸メダル」の買戻しを行うことが、多くのパチンコファンを凶悪犯罪から守るためにも早急に採用される必要があると考えられるのであります。具体的にはパチンコ営業店が遊技客の求めに応じて、風俗営業等の規則及び業務の適正化等に関する法律施行規則に定められた「貸玉・貸メダル」と同等金額で、パチンコ営業店内での第三者(社会福祉団体・NPO)等が買戻すことが出来るシステム。このシステムの採用により、文献によるところの、不明瞭で健全な三店方式と呼ばれる賞品交換システムによる弊害を解消し、パチンコを今以上に明るく健全な娯楽産業にする事が可能になります。これにより、日本で生まれ大衆娯楽に発展した素晴らしいパチンコが、グローバル時代の現代においては、世界中の人々に本当のパチンコの楽しさ素晴らしさを知っていただけることとなり、その結果、国民の大衆娯楽に成長したパチンコ産業そのものが、世界中に輸出できる体制になるのであります。		株式会社 玉越	愛知県	警察庁
1064020	世界に認められる、21世紀のパチンコビジネスモデル。パチンコ営業店が遊技客に貸出しを行う「貸玉・貸メダル」の最高限度額を変更する。		「貸玉・貸メダル」の最高限度額を地域によって変更する。例えば愛知県の場合、現在の貸玉、玉一個につき4円、貸メダル、メダル一枚につき20円を超えないこととなっている「貸玉・貸メダル」金額を、それぞれ、玉一個につき5円、メダル一枚につき25円を超えないことに改定する。	現在の社会情勢を鑑み、再度ご提案させて頂きます。パチンコの貸玉金額は昭和53年(1978年)に「玉1個につき3円から、玉1個につき4円を超えないことに改定されてから実に30年間も見直しがなされておらず、パチンコファンからは、貸玉金額の上限の改定を望む声があがっております。そもそも、パチンコ営業は保通協で認可された遊技機で営業を行っており、19歳未満の者を客として立入ることを禁止している等、適度な射幸性を保った最大の娯楽産業であります。地域により、遊技客が望んでいるより幅広い「貸玉・貸メダル料金」貸玉にあつては玉1個につき5円、貸メダルにあつてはメダル1枚につき25円の金額の中から、お客様の選択肢に合わせた遊技を行うことが、パチンコファンにとつても時代に適した遊技の幅を持たせた選択肢であるため、再度提案をさせて頂きます。これは日本が戦後発展を遂げた成熟社会となった現在にあつては個々の責任と意志を尊重し、また昭和53年の物価から比較しても、たとえ貸玉金額の上限を改定したところで、ただちに当局が考える著しく射幸心をそそるおそれが生じる営業とは必ずしも判断されることはないと考えられるからであります。		株式会社 玉越	愛知県	警察庁
1064030	パチンコ営業店における賞品最高限度額の引上げを認める。		パチンコ営業店が、遊技の結果に応じて賞品として提供できる賞品の価格の最高限度に関する基準を3万円を超えないこととする。	現在パチンコ営業店では、賞品として多種多様な品揃えを行い遊技客に提供しているところではありますが、現在の賞品の最高限度額は、平成2年にそれまでの最高限度額3千円から1万円まで引き上げられた後およそ20年が経過しており、今日に至るまでその妥当性の検証がなされておらず、最近の健康ブームや消費者の高級志向により、現在の1万円を超えない等の物品では必ずしも遊技客に満足のいく賞品を提供しているとは言えず、上限を3万円に引上げるにより、貯玉・再プレー制度の活用と相まって今よりも一層多品種で高額な賞品を提供することが出来ます。また今回の提案は現在の社会情勢を鑑み、例えその物品の上限を3万円に上げたとしても、著しく射幸心を煽っていることにはならないと考えられるのであります。例えば、1万円の賞品を3個獲得する場合と、1個3万円の賞品を獲得する場合、共に賞品獲得金額は3万円であるが、現在の成熟した社会にあつては、3万円分の賞品を獲得する手段が、1万円の賞品3個と3万円の賞品1個の獲得方法のどちらかであつたとしても、(例えば3万円の賞品1個を遊技客が獲得した場合)それだけでは著しく射幸心をそそられるとは決して言えないのであります。保通協で認可された遊技機を設置し営業を行っているパチンコ営業店は適度な射幸性を保った健全な娯楽産業なのであり、例え賞品最高限度額を現在の1万円から3万円に引上げたとしても、賭博罪に当たる行為を行っているとの評価を受けることは有り得ないのであります。		株式会社 玉越	愛知県	警察庁

01 警察庁 非予算(特区・地域再生 検討要請).xls

提案事項管理番号	要望事項(事項名)	拡充提案・関連提案に係る規制の特例措置の番号・名称	求める措置の具体的内容	具体的事業の実施内容・提案理由	プロジェクト名	提案主体名	都道府県	制度の所管・関係府省庁
1068010	仙台市街地の信号機付近に交差点ナンバーの案内プレートを設置するため規制緩和及び国土地理院地図に交差点ナンバーの記載		仙台市街地において、ビジターが現在位置を簡単に確認できるよう交差点ナンバーを割り振り、信号機付近にその案内プレートを設置するため、道路交通法の緩和をお願いする。公的パンフ、市販マップ等への普及を図るために、国土地理院の地図に主要交差点だけでも交差点ナンバーを記載していただく事を併せて要望する。	二番丁通りと青葉通りを仙台の市街地の中心起点(50-50)として設定し、4桁の数字によって交差点ナンバーを割り振っていく。始めの二桁は南北の交差点位置を示し、北に向かうほど数字が減っていく。後ろの二桁は東西の交差点位置を示し、東に向かうほど数字が増えていく。併せてNSEWによりどちらに向かっているのか方向表示も記載する。通り名も併記するが歩行者向けとしての仕様。このプレートを信号機の支柱や交差点付近の街頭支柱に設置する。国土地理院に対しては1/25,000の地図に県庁前等の主要な交差点ナンバーを記載していただき、公的な印刷物を始め、市販の地図等にも普及を図るための基準とする。＜提案理由＞仙台は車で来るにはわかりにくいとの苦情が多い。また外国人やお年寄りにも自分がどこにいるのかよくわからないとの声を聞く。交差点ナンバーによる位置情報を提供することにより、観光特区としてビジターに優しい街づくりの契機として活用していきたいと考えている。＜代替措置＞信号周りに少し離れた部分に設置することにより、速度制限等の数字表記との混同を回避している。加えて構造物に直接設置することができれば、または塩化ビニール製のシール素材により貼り付けることができれば風速50mの基準にも耐えられる。		個人	宮城県	警察庁 国土交通省
1070010	公道を利用した露店やパフォーマンス実施に伴う道路使用許可手続き及び道路占用許可手続きの効率化		中心市街地の賑わいや交流の場として、公道を利用した露店やパフォーマンスの推進が求められている中、公道利用の規制は欧米より厳しく、実現のハードルは已然と高い。この理由には企画を立案し活動主体となるのは主に民間の団体や企業である一方で、許認可の申請は行政の努力を要するため、民間の団体や企業単独での許可が成立し難い面があると考えられる。地域の民間団体が活動主体で、かつ安全性を確保しつつ賑わいの場を創出されるべくこれらの許認可の申請について規制を緩和し、手続きの効率化を行うことを提案する。	大型商業施設への規制緩和が実施された平成17年以降、全国各地の中心市街地は衰退の一途を辿り、地方再生の鍵として公道を利用した高知の街路市に多くの注目が集まっているが、過去の実績が無いとの見解から新たな公道での定期開催は未だに確立された地域は皆無である。しかし公共の場を利用した民間の活動は、市街地における賑わいと魅力の創成や利用使用料の収入における自治体の収入源になる事も期待され、国が推奨している施策の1つである。これらのジレンマを解決すべく、地域再生を目的として、地域産業を活用した為の公共性の高いと判断されるイベントに関しては、規制緩和を行い、手続きの効率化を推進する事が重要課題と考える。		NPO法人くろめ日曜市の会	福岡県	警察庁 国土交通省